

2025 年度 保証人懇談会資料

- | | |
|---------|-------------|
| P.1-19 | 全体説明会資料 |
| P.20-25 | 教育への取組みについて |
| P.26-30 | 学生生活の概要 |

関東学院大学



関東学院大学について

■学部・学科/コース（11学部14学科9コース）



関東学院大学の歴史・校訓について

- 1884年
横浜山手に、関東学院大学の源流となる
横浜バプテスト神学校が設立
- 横浜に誕生して140年
- キリスト教主義の総合大学



初代校長 Albert Arnold Bennett



校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと
広く世の中に貢献できる学問・知識を身につけた有能な
人材の育成を教育理念としている

関東学院大学の研究力

(1) 知的財産権等収入

No.	機関名	収入額 (千円)	前年度 No.
1	京都大学	1,777,786	1
2	東京大学	1,326,232	2
3	大阪大学	811,300	3
4	順天堂大学	484,352	5
5	東北大学	414,078	4
6	神戸大学	271,681	29
7	北海道大学	222,648	6
8	慶應義塾大学	155,103	13
9	九州大学	139,500	7
10	名古屋大学	138,655	9
11	名古屋工業大学	118,818	8
12	東京工業大学	99,184	12
13	北里大学	97,824	18
14	関東学院大学	93,840	11
15	筑波大学	85,314	17

(2) 特許権実施等件数

No.	機関名	件数	前年度 No.
1	東京大学	4,408	1
2	京都大学	2,402	2
3	東北大学	1,580	3
4	北海道大学	1,472	4
5	大阪大学	1,431	5
6	名古屋大学	824	8
7	関東学院大学	816	7
8	東京工業大学	626	6
9	慶應義塾大学	602	10
10	九州大学	549	9
11	筑波大学	519	11
12	千葉大学	445	12
13	東京医科歯科大学	385	13
14	広島大学	384	15
15	信州大学	381	14

「令和5年度 大学等における産学連携等実施状況について」文部科学省 2025年2月14日(公表)



2025年3月21日『日本経済新聞』



KGU 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東化成工業株式会社について

関東化成

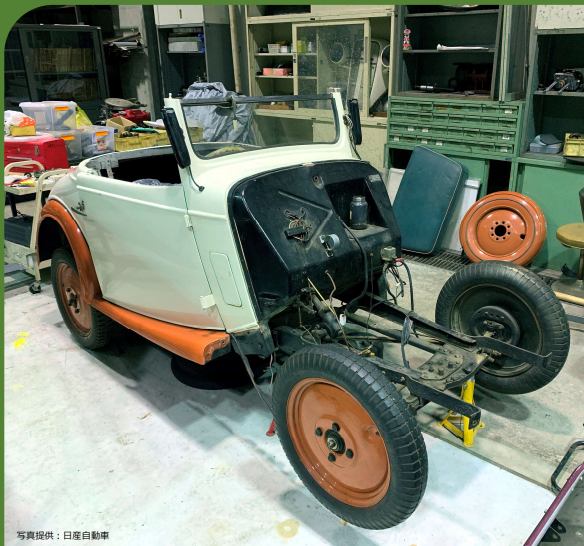


関東化成工業株式会社HPより



- 1946年 2月** 関東学院工業専門学校（現 関東学院大学）の実習工場として実習のかたわら営業開始
- 1963年 5月** 『プラクロム』製品を製造販売（プラスチックにめっきを施す技術開発）
- 1964年10月** プラクロム製品が世界で最初にトヨタ自動車工業(株)（現 トヨタ自動車(株)）の量産車に採用
- 1969年 5月** 学校法人関東学院より分離、関東化成工業株式会社（資本金1億円）を設立

KGU 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



写真提供：日産自動車



写真提供：日産自動車

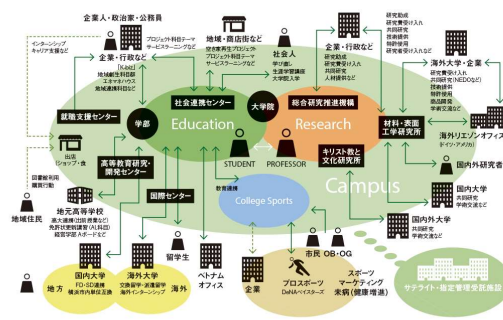
教育・研究活動として理工学部がレストアを手掛けた オールド・ダットサンを一般公開



社会連携教育

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

全ての課題は、社会の中にあります。
教室で学ぶ「理論」と、社会での「実践」
の往復が社会連携教育の学びです。
他学部の学生や企業、自治体等と連携し、専門分野や世代、肩書き、文化背景等が異なる多様な人々と協働しながら、実社会の中で課題発見・解決にチャレンジし、実践的な力を身に付けていきます。



最新の社会連携教育TOPIC



国際文化学部 英語文化/比較文化学科



カンボジア・ソーラーランタン支援プロジェクト

Landport × KGU 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



社会学部 現代社会学科



沖縄県でのフィールドワーク

沖縄のほか、韓国やフィリピンなど国内外でフィールドワークを実施。

KGU 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

最新の社会連携教育TOPIC



理工学部 情報ネット・メディアコース



横浜・八景島シーパラダイスへ新規事業提案

シーパラの魅力発信とリピーター獲得を目指し、混雑緩和にもつながるゲームアプリを制作。



理工学部 土木・都市防災コース



能登半島地震の現地調査を実施

2024年1月1日に発生した能登半島地震で、液状化の被害が激しかった石川県内灘町で被害状況を調査。

KGU 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

最新の社会連携教育TOPIC



人間共生学部 共生デザイン学科



「DAISO」のプロダクトデザインに挑戦

DAISOのデザインチームに加えバイヤーも同席し、実際の商談のような雰囲気の中で最終プレゼンを実施。

栄養学部 管理栄養学科



「Cafe オンディーヌ」コラボメニューの提供を開始

栄養学部 細山田ゼミの学生が「Cafe オンディーヌ」と連携し、地域性や健康に配慮したスイーツを共同開発。

KGU 関東学院大学
KAITO GAKUIN UNIVERSITY

最新の社会連携教育TOPIC



法学部 法学科/地域創生学科



神奈川県議会と法学部生との意見交換会

「若者が政治に関心を持つには？」をテーマに少人数で対話。自分の意見と他者の考えを聞き、視野を広げる体験。

法学部 地域創生学科



学生がスタッフを務める『関学珈琲館』がオープン

横須賀市 × 関東学院大学

KGU 関東学院大学
KAITO GAKUIN UNIVERSITY

最新の社会連携教育TOPIC



経営学部 経営学科



経営学部1年次科目「K-bizベーシック2」の表彰式

横浜バイシェラトンホテル&タワーズ、(株)KADOKAWAから課された「宴会場を活用したビジネスプランの検討」について、ビジネスプランの立案に挑戦。



人間共生学部 コミュニケーション学科



メディア×ビジネス心理×グローバル【プロジェクト科目】

大学のキャンパス内での学びに加え、学外の具体的なプロジェクトを通じて実践的に学ぶ教育スタイル。



関東学院大学の最新TOPICS

TOPIC①



※2026年4月開設予定(設置届出中)



国際文化学部 国際文化学科

- 英語文化コース
- グローバル歴史文化コース
- 多文化協働コース

TOPIC②



情報学部 情報学科

- 情報工学コース
- 数理・人工知能コース
- 情報メディアコース
- 医療・人間情報学コース



※2026年4月開設予定(設置届出中)



就職支援体制

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東学院大学の就職状況

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



2025卒の就職率 (2025年5月1日現在)

就職率 : 96.5%

実就職率 : 88.2%

採用直結型インターンシップ

5日間以上のインターンシップであれば、選考での活用が可能に。
インターンシップへの参加で、各企業から早期採用選考の案内も。

早期化

2025卒から早期化が加速。早めの動きだしが鍵。
3年次からの早期での企業との接触が重要。

関東学院大学の就職支援

2025卒（4年生）向け就職支援プログラム

- ▶ キャリアコンサルタント有資格者による個別相談
- ▶ 学内合同企業説明会、面接会等のイベント開催

就職に悩んだら、まずは就職支援センターへ。

2026卒（3年生）向け就職支援プログラム



- ▶ **就職ガイダンス**
- ▶ **KGUインターンシップ°（事前指導）**
- ▶ **大学連携型インターンシップ°**
- ▶ **就活準備プログラム**
- ▶ **業界セミナー・学内合同企業説明会**

スキルの積み上げのために、積極的活用を。

2027卒（2年生）向け就職支援プログラム



- ▶ **就職ガイダンス**
- ▶ **就活準備プログラム**
- ▶ **業界セミナー**

早期から進路選択を自分ごと化することが重要。

関東学院大学の就職力

K G U

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

- ▶ **総合ランキング 全国35位**
- ▶ **行動力ランキング 全国15位**
- ▶ **独創性ランキング 全国14位**
- ▶ **採用を増やしたい大学
ランキング 全国 8位**
- ▶ **就職支援に熱心に取り組む
大学ランキング 全国12位**



日経HR「日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 就職力ランキング 2024-2025」

K G U

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

保証人の皆さまへのお願い

保護者との関わりでよかったこと。

- 1位：個性を尊重し、自分の活動を肯定してくれた。
- 2位：普段と同じ態度、見守り役、聞き役に徹してくれた。
- 3位：物質的援助をしてくれた（スーツなど）。
- 4位：励まし、癒し、心の支えになってくれた。

株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所「就職プロセス調査 2024年卒 2023年12月1日時点」

学生が一番のサポーターに。

時代とともに、社会情勢や就業環境なども大きく変わっていますので、学生の価値観と、保証人の皆さまの価値観との違いが生じる場合がありますが、否定的な意見や、誰かとの比較、意見の押し付けは、NGです。

見守り役、聞き役に徹しながら、普段通り接し、学生自身が考えて決断できる様に促し、決断を肯定してあげることが重要です。

就職活動を通して、学生は成長していきます。

学生の就職活動を全力で支援。

就職支援センターをぜひ、ご活用ください。

学生支援体制

履修登録

レポート
試験

単位認定

資格取得
(教職課程)

転部・転科

他学部受講制度

副専攻制度

29

学業成績の評価について

■GPA制度とは

各科目の成績をGPIに換算、科目1単位あたりの成績を数値で示したもの

！奨学金の支給、特待生やスカラシップ生の継続などの判断基準となる

- 不可になった科目を再履修した場合、評価は上書きされる

秀 (S) : 4 pt

優 (A) : 3 pt

良 (B) : 2 pt

可 (C) : 1 pt

不可 (F) : 0pt

30

学生生活課
学修面以外の相談窓口

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

奨学金

学籍
(学費、休学等)

**トラブル
相談**

学生寮

課外活動

落とし物

など…

！地域や企業、自治体、警察等との協力体制も整備

31

学生支援室
学生生活の総合窓口

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

**総合案内
相談窓口**

居場所

学習支援塾

教職員メンター

学生メンター

**障がい学生の支援
(ノートテイカー)**

など…

！学内の適切な部署へ接続、連携も行います

32

その他の支援体制

カウンセリングセンター

カウンセラー(臨床心理士、公認心理師)の常駐

学院保健センター

看護師、保健師の常駐、健康相談

など…

そのほか

関内キャンパスを拠点としたイベントを開催！

KGU
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

■ Christmas Academy
～音楽とトークで楽しむクリスマスの夕べ～



37

ご清聴ありがとうございました

KGU
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東学院大学の教育への取組みについて

1. 本学の3つのポリシーと教育改革の概要

3つの方針を通じた学修目標の具体化 ―確かな学士力の育成と学生本位の教育―

関東学院大学では、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、「学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）」「入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）」の3つの方針（ポリシー）を定め、本学の教育の特色を示すとともに、本学の学生が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学生本位の教育の実現に努めております。

特に「学位授与方針」は、学生本位の教育の起点となるものであり、本学の学生が卒業までに身に付けるべき資質・能力について、「知識・理解」「技能」「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」の4つの領域ごとに具体的に示しています。これらの能力は、急激な変化を続ける現代社会において、学生が、自立し、思考力と行動力を伴って、不確実性の高いこれからの社会で活躍していくために必要な総合的な人間力の礎となるものです。

そして、「教育課程編成・実施の方針」には、「学位授与方針」を達成するための本学における教育課程や教育内容・方法等を、「入学者受け入れ方針」には、本学の教育を行うにあたり求める学生像等を示しており、3つの方針を一貫性・整合性のあるものとして定めております。

さらに、学生の体系的な学修を支援するため、「学位授与方針」と各授業科目との関係や学びの流れを示した「カリキュラム・マップ」を作成し、あらかじめ学生に明示しております。また、各授業科目のシラバス（授業計画）には「科目のテーマ及び概要」や「科目の到達目標」のほか、「学位授与方針と各科目の関連」を明示し、各授業回で必要な「学習課題（予習・復習）」を指示しております。2023年度からは、開講する全ての授業科目にナンバーを付して分類（ナンバリング）し、教育課程上の科目の位置づけ、学習水準、段階を体系的に明示する仕組みを作りました。

本学では、今後も上記ポリシーに則して個々の学生への学習指導を推進してまいります。

キリスト教に基づく教育

本学のキリスト教関連科目は、「キリスト教に基づく教育を行う」との「建学の精神」のもとに設置されている科目です。その中でも全学共通科目である「キリスト教学」は、聖書の学問的理解とキリスト教の教えおよび倫理思想などの概説を通し、キリスト教への正しい理解を深めるための基礎的科目として位置づけています。これは、学生個々の人格形成に寄与するとともに、深く人類の歴史と文化を洞察する豊かな力を養うものです。

他のキリスト教関連科目も同様に、テーマ別にさまざまな角度からキリスト教の学びを通して、人間とは何か、この世界はどのようなものかを考え、歴史の中でキリスト教が果たした貢献について広く学ぶことができます。それらを考察することは、自分自身の人間観や世界観を捉えなおし、自己の存在意義を確認することにつながります。それは他の宗教や他の価値観に対しても理解を深める糸口となり、他者を理解し、現代世界、あるいは自分自身が向き合っている諸課題にどのように取り組むことができるのか、考えを判断する機会でもあ

ります。

自立と実社会への理解

全学部に通じて開講され、他学部学生と共に学習する「全学共通科目」として、自己キャリア形成を目的とした「全学共通キャリア教育科目」、地域社会と連携した教育のフィールドとなる横浜・神奈川を理解する「全学共通地域志向科目（KGUかながわ学）」、大学生に求められる情報に関する資質・能力を養うための「情報教育科目」を設置しています。

実社会の中で学ぶプロジェクト型の科目や、ボランティア等へ参加する際にも、自分自身を知ることや地域の特性を理解することで、より実践的な学びを深めることができます。

また、社会連携センターを中心に、地域や企業、自治体と連携した教育を推進しています。

学修環境の整備

現在、11学部の学生が横浜南部に位置する金沢八景キャンパスおよび横浜中心部の関内キャンパスで学んでいます。この両キャンパスを横断して他学部受講や副専攻、インスティテュートなどの制度を活用することで、総合大学としての幅広い学びを可能とする環境を整備しています。

今後も、全学的な地域連携、PBL（課題解決型学修）の実施など、社会に開かれたキャンパスをコンセプトに、立地の利を活かした「社会連携教育」を展開していきます。

海外指定校制推薦入学試験制度 —グローバル・多様性への志向—

学生が将来、多様な人々と協働する力を養えるように、海外指定校推薦による学部・大学院への入学や、編入学の制度を整備して、キャンパスの国際化を進めています。海外への留学制度を整備すると共に、キャンパスに留学生が増えることは、在学生の留学志向の向上や、英語力の向上、またこれからの社会に必要なグローバルな感覚を磨くことにもつながります。

また、別項に記載の国内留学を利用した他大学生や、「履修証明プログラム制度」（特定の学部に限ります）を利用した社会人が同じキャンパスで学んでおり、学内で多様な学生に触れる機会は増えています。

2. 学生の学び

大学の教育課程では、学部・学科・コース毎に卒業要件が定められており、その要件を満たすことによって、卒業が認められます。

必修科目やクラス指定科目以外は、学生が時間割やシラバス（授業内容や成績評価の基準等を記載）、履修要綱に掲載されたカリキュラム・マップや教育課程表を参照し、4年間の大まかな学修計画を立てたうえで、各年度の履修科目を選択します。シラバスは、KGUポータル（学生ポータルシステム）から検索することができ、学外からも自由に閲覧できる仕組みになっています。

大学では、大学生としての一般教養を学ぶための科目（共通科目）とともに、学年進級に伴い高度な専門科目を学ぶことになります。

履修登録

履修登録とは、各学年の初めに、学生が自分で選択した履修科目を大学に申請することです。春学期に一年間分（春学期・秋学期）の履修科目を申請し、秋学期開始時には春学期の

単位修得状況を勘案して、変更することも可能です。この履修登録が正しく申請されていないと、授業に出席して試験に合格しても単位取得とはなりません。

学習方法・授業形態

履修登録をした上で、初回から授業に参加し、与えられた課題や試験を受け、学習を進めます。また、単位修得のためには、授業時間内の学習だけではなく、予習復習も行う必要があります。授業各回の予習・復習内容、使用する教科書や参考書については、シラバスに掲載しています。

授業形態については、学生の学修機会を確保し、可能な限り教員と学生間の交流機会を確保するため、原則は対面型の授業です。また、学生の履修の幅を広げるため、教育効果を高めるためなどの理由で、一部オンライン型の授業もあります。なお、オンライン型の科目は、卒業に必要な単位数に算入できる上限が60単位までと定められており、成績表等では、科目名の前に「★」印が付与されています。

成績評価

学修の成果を問うために、レポート課題や試験が行われます。また、演習・実験・実習では、プレゼンテーション、発表などで評価することもあります。毎回の授業で小テストを課すなど、成績評価基準は科目によって異なります。

本学では、5段階評価（秀・優・良・可・不可）を採用しております。

単位認定

レポート課題、試験などの内容が、一定の基準を満たすと認められた場合に、単位が付与されます。必修科目を修得できなかった場合には、再履修する必要があります。上記の成績評価のうち秀・優・良・可の成績で単位認定となります。成績評価結果については、KGUポータルおよび次の学期はじめのオリエンテーションで成績表が配付されます。保証人の方には、3月下旬と9月下旬の年2回、学費通知書とともに送付いたします。

卒業

4年以上在学し、所属学部・学科・コースで定められた単位を修得し、卒業要件を満たした場合に卒業有資格者となります。通常の3月卒業の他、休学、留年等で半年遅れる場合には、9月卒業となります。

3. GPA制度

GPAとは、各授業科目の成績結果をGP（グレード・ポイント）に換算して、履修した全ての科目1単位あたりの成績を数値化したものです。その値により学生個人の成績状況を把握することができます。

本学では、GPAを学生の学修状況の把握と学修指導に利用すると共に、学生自らが学業成績の状況を把握し、学修意欲を高めることを目的に導入しています。

GPAは、秀(S)を4、優(A)を3、良(B)を2、可(C)を1、不可(F)を0というGPに置き換え、算出しています。資格取得等を目的とする諸課程科目の単位および「認」、「合」判定の科目は、計算に含まれません。なお、不可(F)となった科目を再履修した場合は、その評価を反映して再計算（上書き）されます。

4. 初年次教育

各学部では、それぞれ少人数クラスの科目を開講し、大学での学びが円滑に進められるよう、きめ細かく指導しています。

全学共通科目「KGUキャリアデザイン入門1」（新入生全員が履修）・「KGUキャリアデザイン入門2」では、自己実現力と他者理解力を高め、卒業後を意識した4年間の大学生活をデザインすることを目標としています。

これらの科目では、本学の建学の精神・自校史を学びます。1年次に職業選択のための適正診断を受検し、受検結果を通して得られる自分が思い描くキャリア像と、現在の自分との相違点などを確認し、4年間の学生生活の過ごし方とその先のキャリアを自ら考えながらデザインしていきます。

5. 全学共通科目

全学共通科目は、科目名の前にKGUが付されています。

（キャリア関連）

前述の初年次教育を始め、学生の皆さんが社会の中での『私』『私たち』を認識し、現在と未来をデザインすることなどを目的として、「KGUキャリアスタディ」・「KGUキャリアデザイン基礎」・「KGUキャリアデザイン基礎2」・「KGUキャリアデザイン実践」・「KGUインターンシップ1（事前指導）」・「KGUインターンシップ2（実習）」、「KGUインターンシップ2（長期実習）」を設けています。

（地域志向関連）

「KGUかながわ学」では、地元自治体や地域、地元企業等のニーズを把握し、自らの学習・研究成果を以って、地域の持続的発展に貢献できる人材を育成することを目的に、以下の10分野開講しています。

◎10分野〔行政、経済、政治、スポーツ、歴史・文化、自然、健康、地域づくり、地域安全、コミュニティ〕

実際に地方自治に関わる現状や課題を学ぶ「地域創生特論」（14科目）も全学で受講できます。

（情報教育関連）

「情報」に関する科目として「KGU情報通信技術の基礎」「KGU情報システム基礎」「KGUデジタル社会基礎」「KGUデジタルイノベーションとビジネス」「KGUデータサイエンス概論」（以上講義科目）、「KGU情報基礎演習」「KGUアカデミック情報演習」「KGUドキュメント生成演習」「KGU情報ビジュアライゼーション演習」「KGUデータサイエンス演習」（以上演習科目）を開講しています。これらの科目は、社会活動や研究の現場で使うことのできる「スキル」の学びを中心としています。

KGUデータサイエンスプログラムについて

上記のうち「KGUデータサイエンス概論」・「KGUデータサイエンス演習」は、「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能をもとに、自らの意思でデータを読み、そのデータを説明し、活用できる人材の育成を目的としている科目です。

この二つの科目で構成する本学の「KGUデータサイエンスプログラム」は、文部科学省が認定する「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に選定されています。プログラムの修了者には、卒業式・学位授与式にて修了証を交付しています。

6. 他学部受講制度

学生は、所定の科目であれば、他学部の科目を受講することができます。修得した科目は、各学部の基準により卒業所要単位として認められます。

7. 副専攻制度

副専攻とは、学生の興味、関心や多様なニーズに応え、幅広い学修の機会を提供します。所属する学部・学科の専門分野以外に、特定の分野や課題に関連した科目を体系的に履修することができます。その成果は単位として認定され、要件を満たした学生には修了証が発行されます。

現在、全学で30の副専攻が開設されています。

8. インスティテュート

インスティテュートとは、特定分野ごとに設置される学部横断的な教育プログラムです。学部の専門領域で学ぶ知見に加え、各分野に特化した知識と理解を深めることで複眼的な視点が養えます。本学では、以下の三つのインスティテュートが設置されています。

①キリスト教人間学インスティテュート

キリスト教の「精神」の理解を深め、異なる文化や価値を知り、多様なものの見方や考え方を身に着ける「人間力」が養われます。所定の単位を修得することで、「宗教文化士」の受験資格を得ることができます。

②スポーツインスティテュート *履修するには指定の部活動への所属が必要です

スポーツを「高次のアクティブラーニング」として捉え、学びとスポーツをリンクして高い教育効果と競技力向上を実現し、部活動をより質の高い“学びの場”とするために設置された教育プログラムです。所定の単位を修得することで、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格「スポーツコーチングリーダー」の受験資格を得ることができます。

③グローバルインスティテュート

グローバルインスティテュートでは、主体的な課題設定力、コミュニケーション能力、協調性・協働性といった能力を伸ばし、グローバル社会や多文化共生社会での課題を解決するスキルを身に付け、専門分野を超えた多様な視点やアプローチを身につけることが目的です。卒業後にグローバル社会での活躍を希望する学生のために、異文化理解、多文化共生、SDGs、地球市民など国際社会に関する基礎的な知識を学ぶことと合わせて、協働してチームワークが取れるようにカリキュラムを構成しています。

9. 横浜市内大学間単位互換制度

この制度は、本学の学生が横浜市内にある他大学の授業科目を受講できる制度です。受講料は無料です。

神奈川大学、國學院大學、鶴見大学、桐蔭横浜大学、東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、明治学院大学、横浜国立大学、横浜商科大学、横浜市立大学の 11 大学の授業を受講でき、各学部の基準により卒業所要単位として認められます。

10. 国内留学

「国内留学」として本学に在籍のまま1年間または半年間、他大学で勉強し、修得した単位は、各学部の基準により卒業所要単位として認められます。国内留学の協定を沖縄大学、札幌学院大学、尚絅学院大学と結んでいます。

11. 授業改善への取り組み

授業の改善・向上のため、「学習と授業に関するアンケート」を実施しており、学生からの率直な意見に基づき、教員は今後の授業の在り方を改善するようにしております。

また、教員がお互いの授業を参観しあう公開授業制度や、授業の改善・向上のための研修会・セミナーを行う等、より良い授業をするために大学をあげて取り組んでいます。

12. 海外留学

本学では、海外の大学と提携し、長期（交換・派遣・語学派遣）留学プログラム及び短期の語学研修プログラムを実施しています。

修得した単位は各学部の基準により卒業所要単位として認められます。なお、長期留学プログラムに参加した場合でも、4年間で卒業することが可能です。

13. 資格取得の単位認定

入学前、入学後に取得した資格のうち、一定の基準を満たせば、関連科目の単位認定を行っている学部もあります。

例えば、TOEIC、TOEFL の得点、英語やその他外国語検定試験、数学検定試験、情報処理技術者関連の試験、CAD 利用技術者等です。

14. 教職課程など各種資格課程について（学部により取得できる資格は異なります）

- ① 教職課程：幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭（英語、社会、数学、理科、技術）、高等学校教諭（英語、地理歴史、公民、商業、数学、理科、工業）、栄養教諭、特別支援学校教諭
- ② 図書館司書、学校図書館司書教諭
- ③ 学芸員
- ④ 日本語教員
- ⑤ 社会福祉士
- ⑥ 管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者・監視員
- ⑦ 認定心理士、准学校心理士
- ⑧ 保育士
- ⑨ 看護師

以上

学生生活の概要

学生支援部

現在本学では、10,000 人を超える学生が学んでいます。学生支援部では、学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう奨学金や課外活動、キッチンカーの導入や、友人関係や一人暮らし等の生活面での相談、アパート紹介等、学業以外のキャンパスライフ全般にかかわる学生支援をはじめ、学生たちが抱える様々な問題についての解決支援を行っています。

I. 学生数（合計 11,462 人）【2025 年 5 月 1 日現在】

○学部（合計 11,241）

国際文化学部（1,142）、社会学部（794）、経済学部（1,483）、経営学部（1,578）、法学部（1,464）、理工学部（1,867）、建築・環境学部（586）、栄養学部（404）、教育学部（569）、人間共生学部（1024）、看護学部（330）

○大学院修士課程・博士前期課程（合計 183）

文学研究科（17）、経済学研究科（12）、法学研究科（13）、工学研究科（139）、看護学研究科（2）

○大学院博士後期課程（合計 38）

文学研究科（10）、経済学研究科（1）、法学研究科（5）、工学研究科（22）

II. 課外活動

◎2024 年度の強化指定クラブの活動状況

[ラグビー部]

- ・関東大学リーグ戦 1 部 残留

[硬式野球部]

- ・2024 年度神奈川大学野球春季リーグ戦 1 部 4 位/6 大学
- ・2024 年度神奈川大学野球秋季リーグ戦 1 部 3 位/6 大学

[陸上競技部]

- ・第 101 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会 総合 30 位

[サッカー部]

- ・関東大学サッカーリーグ戦 1 部 12 位/12 大学（2 部降格）

[剣道部]

- ・第 58 回全日本基督教大学剣道大会 男子団体準優勝 女子団体第三位
- ・第 72 回全日本学生剣道優勝大会 ベスト 16
- ・第 43 回 全日本女子学生剣道優勝大会 ベスト 16
- ・第 69 回秋季神奈川県学生剣道選手権大会 男子団体 準優勝

[ウィンドサーフィン部]

- ・全日本学生ボードセーリング選手権大学対抗戦 団体 8 位
- ・全日本学生ボードセーリング選手権 個人戦 8 位入賞

[空手道部]

- ・令和 6 年度春季関東学生会定期リーグ戦 女子 2 部リーグ戦 優勝（1 部昇格）

[チアダンス部]

- ・USA School&College Nationals 2025 出場

Ⅲ. 地域貢献活動

◎2025年度の主な活動（予定）

○6/1 スポーツフェスティバルの開催

近隣の園児から小学生及び近隣住民を対象（約 2,000 名の来場者を見込む）に本学の運動部に所属する学生や指導者がスポーツの楽しさや、ルールの大切さなどを学ぶ機会として体験教室（走り方・野球・サッカー・バスケットボール・ソフトテニス・チアダンス・空手）、近隣商店街の協力による模擬店、各学部による体験教室等

○ラグビー部：小学校での競技体験の実施

○硬式野球部：少年少女野球大会・ソフトボール大会、小学校での競技体験の実施、部活動指導員として中学校での指導

○陸上競技部：走り方教室の開催、小学校での競技体験の実施

○サッカー部：部活動指導員として中学校での指導、大学周辺・通学路の清掃活動の実施

○剣道部：剣道上達講座の実施

○バスケットボール部：部活動指導員として中学校での指導

○ウィンドサーフィン部：ウィンドサーフィン体験教室の実施

○各強化指定クラブ：地域住民を対象とした体力測定講座の実施

※現時点での予定であり、実施については状況に応じて中止となる可能性があります。

Ⅳ. 大学構内のキッチンカーの導入

日々の学生生活の中で食の充実、また学食や教室内の密を避けるために、各キャンパスにキッチンカーを導入しています。2021年度より横須賀市と提携し、地元キッチンカーの出店も開始しました。2015年に導入を開始した当初は3店でしたが、今では20店以上に拡大しました。

Ⅴ. マナー教育の実施事例

- ・2011年度から横浜・金沢八景キャンパス—金沢八景駅間通学路で歩行マナー指導員による、集団歩行・歩きタバコ等のマナー向上指導を実施
- ・2023年度から横浜・関内キャンパス—JR 関内駅通学路で歩行マナー指導員による、集団歩行・歩きタバコ等のマナー向上指導を実施

Ⅵ. 学生生活支援

- ・新入生オリエンテーションの学生生活ガイダンスで日常生活に潜むトラブルや今年度からの成年年齢引下げによる影響についての注意喚起を実施

※2025年度のイベント・講習会の実施方法・内容については、現在検討中です。

Ⅶ. 本学独自の主な奨学金

各奨学金の要項、申請時期等は適宜、本学ポータルサイト（KGU ポータル）に掲載いたします。

特待生制度〔公募なし〕

（年間授業料相当額（授業料減免措置を受ける者は減免後の授業料相当額）、各年度 70 名以内）
3・4 年次生で学業成績が極めて優れた者（ただし、各スカラシップ生は除く）

給付奨学金〔4 月上旬募集〕

（年間 20 万、50 名以内）
2 年次以上のうち学業、人物ともに優秀で、経済的理由により修学困難で日本学生支援機構貸与者（ただし、特待生、各スカラシップ生は除く）

兄弟姉妹給付奨学金〔4 月中旬募集〕

（入学金相当額）
新入生で兄弟姉妹が学部又は大学院に在籍している者（入学時のみ）

斉藤小四郎奨学金〔5 月下旬募集〕

（採用年度・採用者数による）
3・4 年次生で学部長の推薦するキリスト教に理解のある者

学費教育ローン利息補給奨学金〔10 月下旬募集〕

（年間支払利息相当額、上限あり）
学部生で教育ローンを利用している学費納入済みの者

冠奨学金〔9 月下旬～10 月上旬募集〕

（寄付金の件数及び金額による）
①学業成績優秀者、②学業成績良好で経済的理由により学業の継続が困難と認められる者、③ボランティア等各種社会活動や正課外教育活動で活躍する者、④正課又は正課外活動において自主的な活動をする者

兵藤奨学金〔例年 5 月・10 月募集〕

（対象年度の支給可能額に基づき決定）
（国際文化学部生・社会学部生・文学研究科生対象）
①学芸奨励、②キャリア支援の二項目について、項目ごとの審査要件を満たす者

「関東学院女子短期大学記念」奨学金〔第 1 種：随時募集、第 3 種：4 月又は 9 月〕

（人間共生学部・栄養学部・教育学部生対象）

【第 1 種】家計支持者の失職・死亡・火災等による家計の急変により修学困難な者

（学費相当額の全額または半額（1 年次生の場合は諸納付金含）ただし、授業料減免措置を受けている者は減免後の授業料相当額）

【第 3 種】2 年次生及び 3 年次生で学業において優れた努力が認められる者（年間 10 万）

VIII. 学生支援室

○総合案内・相談窓口

学生支援室は、総合案内・相談窓口として、学生生活に関するすべてのことについて、状況、必要に応じて関連部署や教員と連携をとり、サポートしています。

○居場所としての利用

授業の空き時間、昼休み等に気軽に自由に利用でき、飲食もできる場所です。勉強や友人とのおしゃべり等で活用されています。電子レンジ、電気ポット、給茶機（またはウォーターサーバー）、スマートフォン等の充電コーナーもあります。

○学習支援塾

元高校教員や大学院生等のチューターがマンツーマンで指導します。基礎学力の復習や苦手な科目の克服等の支援を行っています。

「レポート作成の基礎」及び「英語」については、オンデマンドでの講習も行っています。

<科目>

金沢八景キャンパス

英語、数学、物理、レポート作成の基礎

(国際文化学部、社会学部、経済学部、理工学部、建築・環境学部)

英語、生物、化学

(人間共生学部共生デザイン学科、栄養学部、教育学部、看護学部)

関内キャンパス

英語、情報

(経営学部、法学部、人間共生学部コミュニケーション学科)

○教職員メンター制度

学生1名に教職員1名が担当について、半年間定期的に面談を行う個別サポート制度です。学生の希望に応じて継続できます。「将来について考えを整理したい」「社会人と話す経験をしたい」等さまざまなテーマで利用されています。「話を聴いてもらえて安心した」という利用学生の意見も多く、実際に成長した様子も伺えます。

○学生メンター制度

学生が下級生や困っている学生をサポートする学生ボランティアスタッフです。2025年5月1日現在、90名が登録しています。

<これまでの主な活動>

履修相談、学生向けイベントの企画・運営（関内でフォトスポット探し、チーム対抗探索ウォークラリー、バーベキュー大会、ウィンドサーフィン体験教室、スポーツ交流会、地域のゴミ拾い、ものづくり体験、アロマキャンドル作り、ひとり暮らし向け企画、クリスマス！アイシングクッキーづくり等）、小学校・地域イベントのお手伝い（関東学院六浦小学校夏の夕べ・バザー、追浜ウォークラリー）等

○ノートテイカー制度

障がいのある学生の履修授業のサポートを行っています。「ノートテイカー」は授業内容をパソコンと手書きで筆記する有償ボランティアです。オンライン授業においても利用者が安心して受講できるように、動画や音声の文字起こしを行っています。

2025年5月1日現在、ノートテイカーは54名の学生が登録しています。障がいのある学生1名に対して約30名のノートテイカーが必要となるため、多くのノートテイカーの協力が必要です。学生支援室では、ノートテイク利用の申し出があったときにいつでも対応できるように、説明会を行い随時募集するとともに、講習会を開催してノートテイカーを育成しています。

○「関東学院大学ワクワク計画」の開催

学生を元気にすること、学生の視野を広げることや、学生生活を充実させるきっかけを提供することを目的とした学生向けのセミナー・イベントを開催しています。毎年行っている「学生満足度調査」や各種イベント時のアンケート結果を元に企画を検討し実施しています。

<これまでの主な活動>

食育講座（ヨーグルトセミナー、チーズセミナー、健康になる食事セミナー等）、和菓子作り教室、適正飲酒講座（ビール工場見学）、芸術鑑賞会（劇団四季ミュージカル）、学院ゆかりの地をめぐる街歩き、フラワーアレンジメント、POLA美容セミナー、ゆかた着付け教室、オンライン旅行、八景島シーパラダイスバックヤードツアー、ホテル鑑賞会、防災体験教室、じゃんけん大会、ヨガ&フィットネス、クリスマス・お正月企画、夢の学食フェア～お願いコックさん～（後援会から援助をいただき、2012年度から実施。学生が考案したメニューや全国ご当地グルメの人気投票など、毎年テーマを変えてメニューを提供）など